



～名張市子ども相談室だより～

ほっとライン

平成 26 年
12 月
創刊号

こ な ば り 子どものは名張のたからもの

ここには、名張市子ども相談室です。

今年も終わりに近づきました。皆さんにとっては、どんな1年でしたか？

こんなことができるようになった、頑張れた、いやいや、もう少し頑張ればよかったなどなどいろいろでしょう。

そんな皆さんを応援しているのが『名張市子ども条例』です。ここでは「安心して生きる」「育まれる」「守られる」「参加する」という4つのことが、大切な子どもの権利として定められています。

みんなが困ったとき、悲しいとき、つらいとき……そんな時には、おうちの人や先生や友達に話を聞いてもらえるとホッとしますよね。

もし、それができない時は、一人で悩まないで、子ども相談室に電話してね。

じっくり話を聞くよ。ヒミツは守るよ。

つらい気持ちを伝え、相談するのも、みんなの大切な権利です。



こま こんなことで困っていませんか

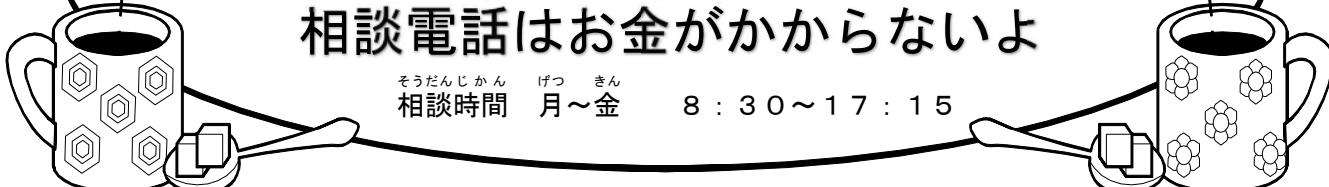


ぱりっ子ほっとライン

0800-200-3218

相談電話はお金がかからないよ

相談時間 月～金 8:30～17:15



参加する権利

ぱりっ子会議

ぱりっ子モール

かいさい

開催しました！

11月23日(日)午後1時から、名張市武道交流館いきいきで、「子どもの権利を考える週間行事」ぱりっ子ひろばが開催されました。この行事は、毎年、ぱりっ子会議に参加している子どもたちが中心になって、イベントの内容や目的、方法などを考え、おこなっています。子どもの意見が大切にされるこの行事は、ぱりっ子会議のメンバー、参加したみなさんの「参加する権利」にあたります。

ゆるキャラ「ひやわん」と
テープカットでスタート！

ぱりっ子モールにきていただきありがとうございました。いたらないところも多少あるかと思いますが、みなさまが楽しんでいただければ幸いです。



参加した人の感想

- ・雑貨屋さんに、かわいいものがいっぱいあった。友達とおそろいで買った。明日学校につけていく。
- ・ストラックアウトがめっちゃ楽しかった。3つそろわなかつたので、もう1回チャレンジする。
- ・普段したことのないゲームがあって楽しかった。

★ぱりっ子会議、ぱりっ子モールは、新しい公の委託事業としてMIK運動に委託しています。

今年は、23人の市内の児童が
ぱりっ子会議に参加しました。

ぱりっ子メンバーの感想

- ・風船で動物を作るのを覚えるのがむずかしかった。
- ・やりたい店ができてうれしい。
- ・仕入れにいって品物を選ぶのがむずかしかったけれど、楽しかった。
- ・店の商品を作ったり、みんなでやったことが楽しかった。
- ・準備の時は大変だったけれど、お客様がたくさん来てくれたので楽しかった。
- ・お客様がくればくるほど忙しかった。